資料　10

令和６年度　部会報告（住まいの部会）

1　開催実績

関係機関の連携強化、地域課題及び情報の共有、障害福祉サービス等従事者の資質の向上等を図るための取組みを行うため、令和６年度より、市内で活動をしていた組織「グループホーム連絡会」を本協議会の専門部会として位置づけ、取り組みを開始した。

これまで障害者グループホームの支援員への研修等を中心に活動してきていることから、これを踏襲しつつ、グループホーム支援員のみでは解決できない地域課題についても抽出し解決が図られるよう、第１回では部会の概要について説明を行い、障害者入所施設や不動産業者が入り混じったグループワークを実施。第２回、第３回では、グループホーム支援員をターゲットにした研修を実施した。

回	開催日	実施内容概要	参加数
1	令和 6 年 7 月 22 日	（１）協議会及び部会の概要説明 （２）グループワーク（各機関の取組、課題の共有）	47 人
2	令和 6 年 10 月 31 日	（１）事例発表（入所施設、グループホーム、不動産関係者） （２）グループワーク（事例への感想や課題共有、情報交換等） このほか、市から「地域連携推進会議」の概要を共有した。	27 人
3	令和 7 年 2 月 18 日	（１）帯広保健所より精神障害者、疾患に係る十勝圏域の現状報告 （２）訪問看護事業所の発表「住まいと医療」（２事業所） （３）グループワーク（情報交換、部会運営への意見等）	36 人

2　解決すべき課題

・居住系障害福祉サービス（グループホームや入所施設など）や一般下宿、不動産関連業者などの関係機関の連携強化
・各機関の取り組みや課題の共有、意見交換
・障害福祉サービス等従業者の資質の向上

3　実施・解決できたこと

支援の現場で起こっている課題、困りごとを解決できるよう、講師を招いた研修を行うことにより、支援者の資質向上を図った。

4　実施・解決できなかったこと

関係機関の連携強化には、入所施設、グループホーム、不動産業者などから広く参加いただける部会となることが望ましいと考えるが、参加者が固定化し、グループホーム以外からの参加は少ない。
一方で、グループホーム支援員の参加も、昨年度から比べると減少傾向である。参加者が固定化しては、地域の支援者の資質向上という課題解決は難しいことから、参加者の増加に向けた部会運営の工夫が必要。

5　令和７年度の取り組みの方向性

令和６年度の実施結果（意見等）より、災害対策や医療連携などをテーマにした取組みを行い、支援者の資質向上を図る。医療連携に関しては、他部会との合同開催等の検討・調整を進める。また、グループホームの空き状況の共有化についても検討を始める。